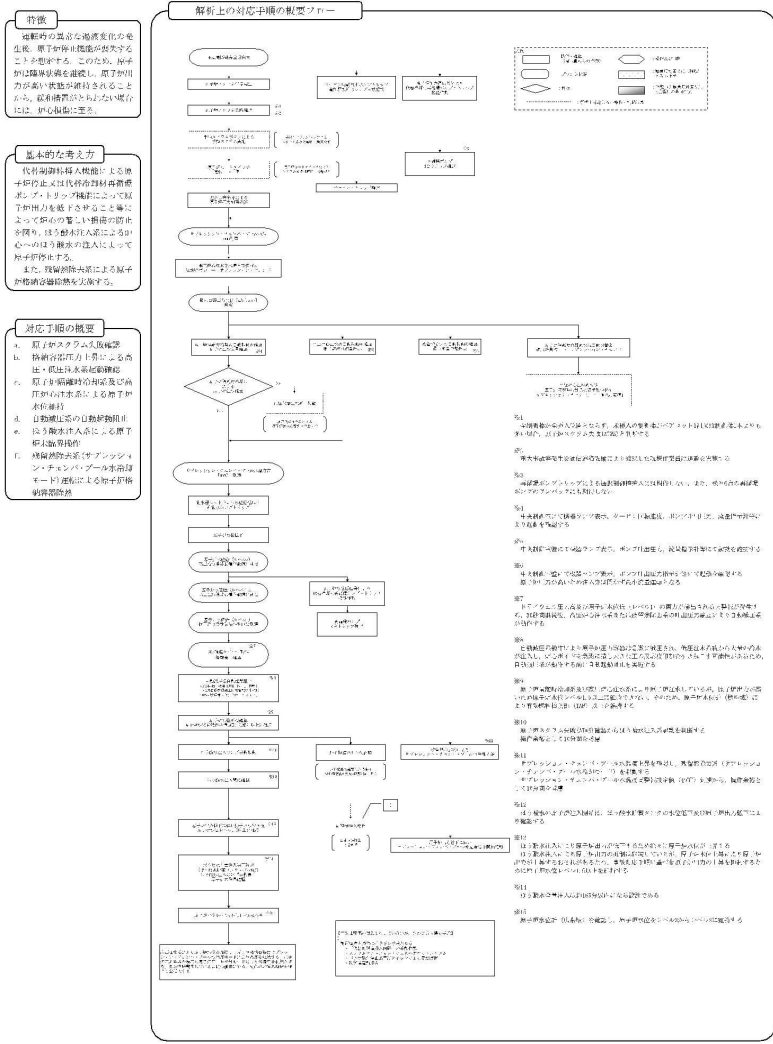
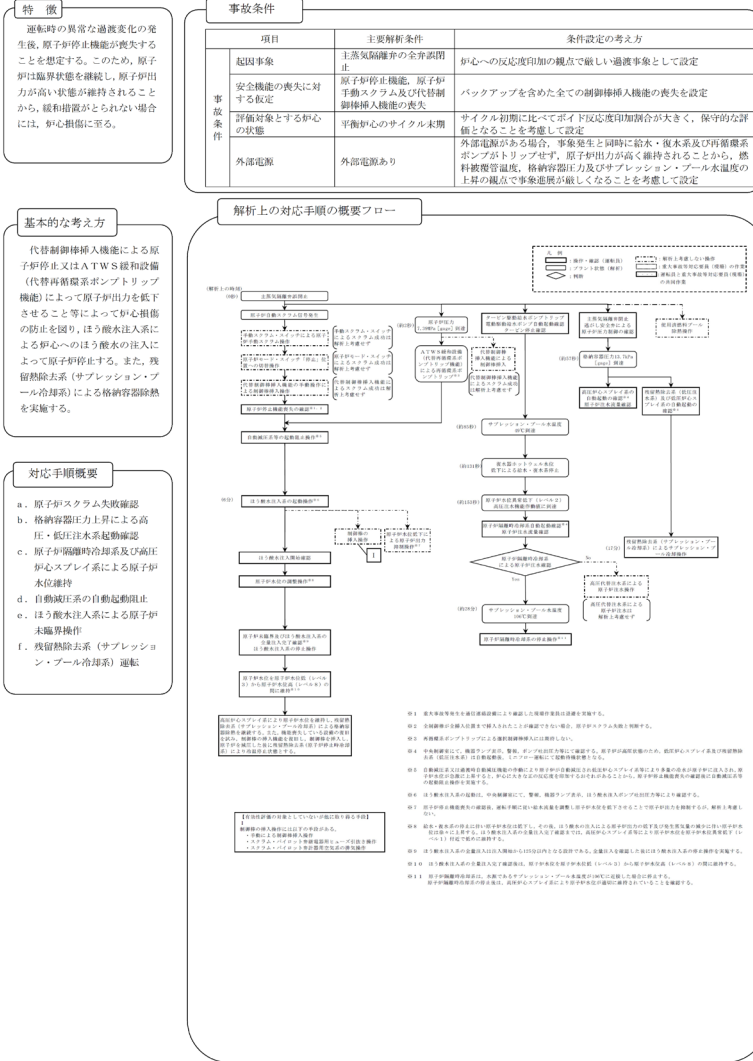


1.5 原子炉停止機能喪失

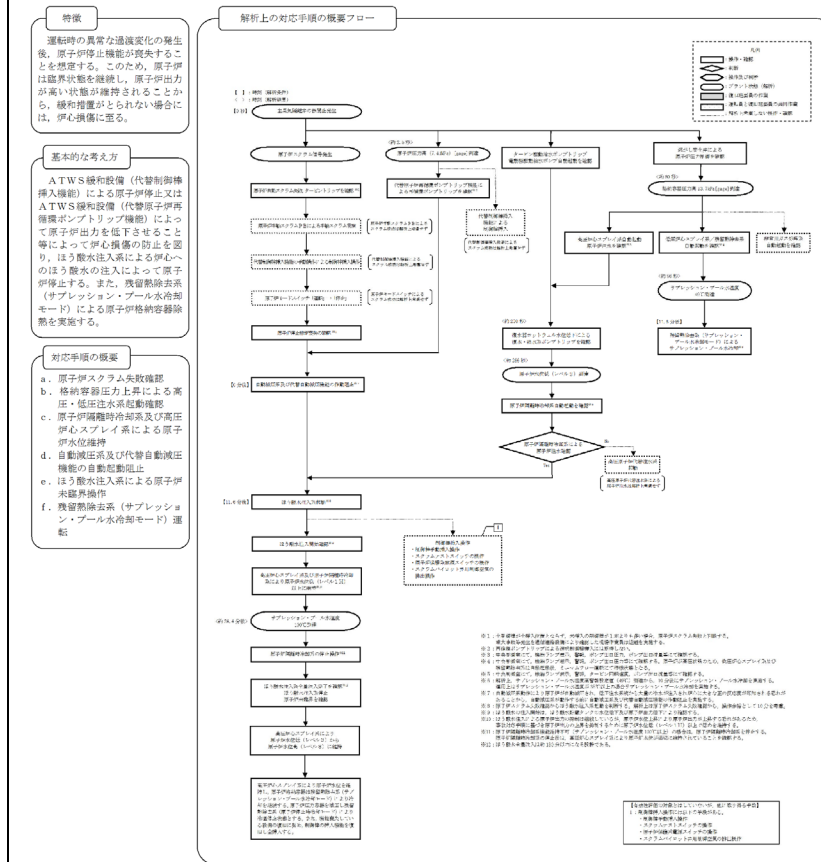


1.0.7-L5-1

1.5 原子炉停止機能喪失

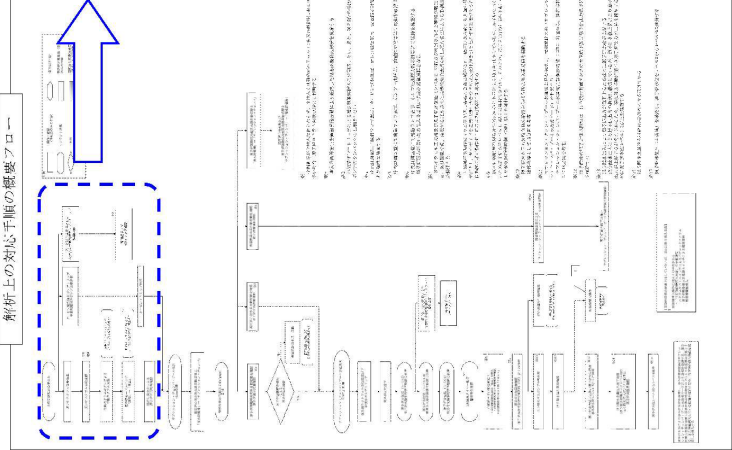


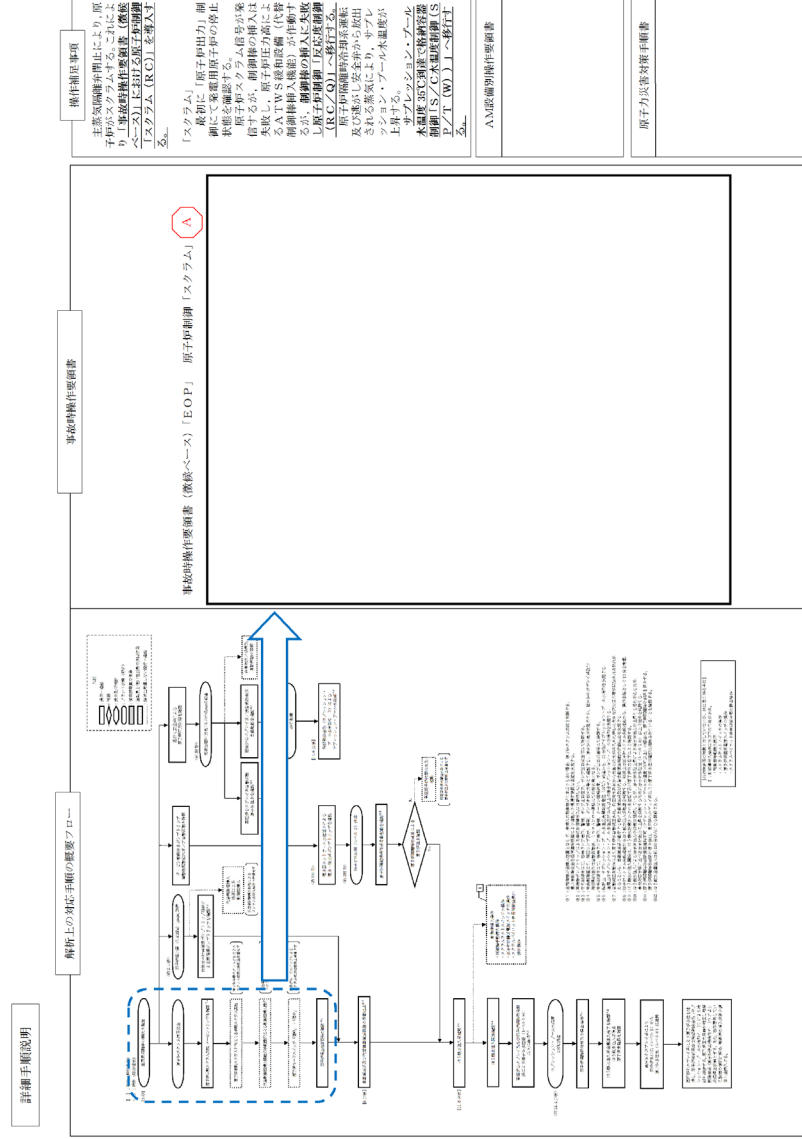
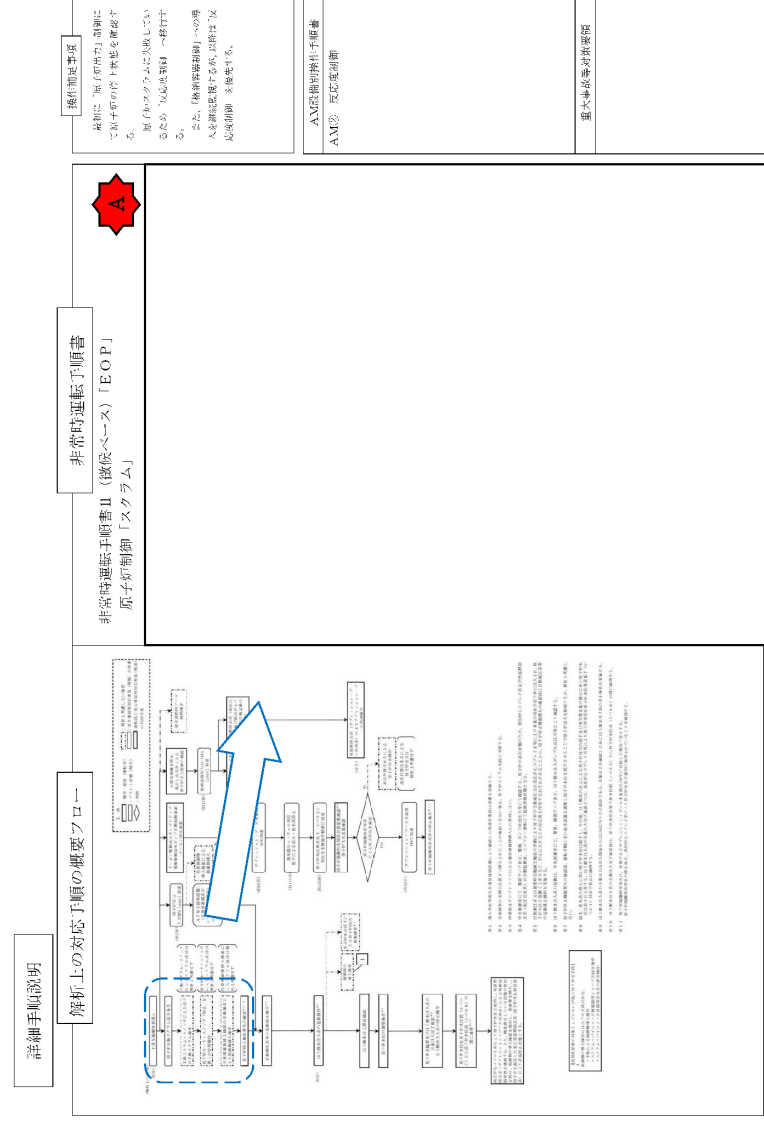
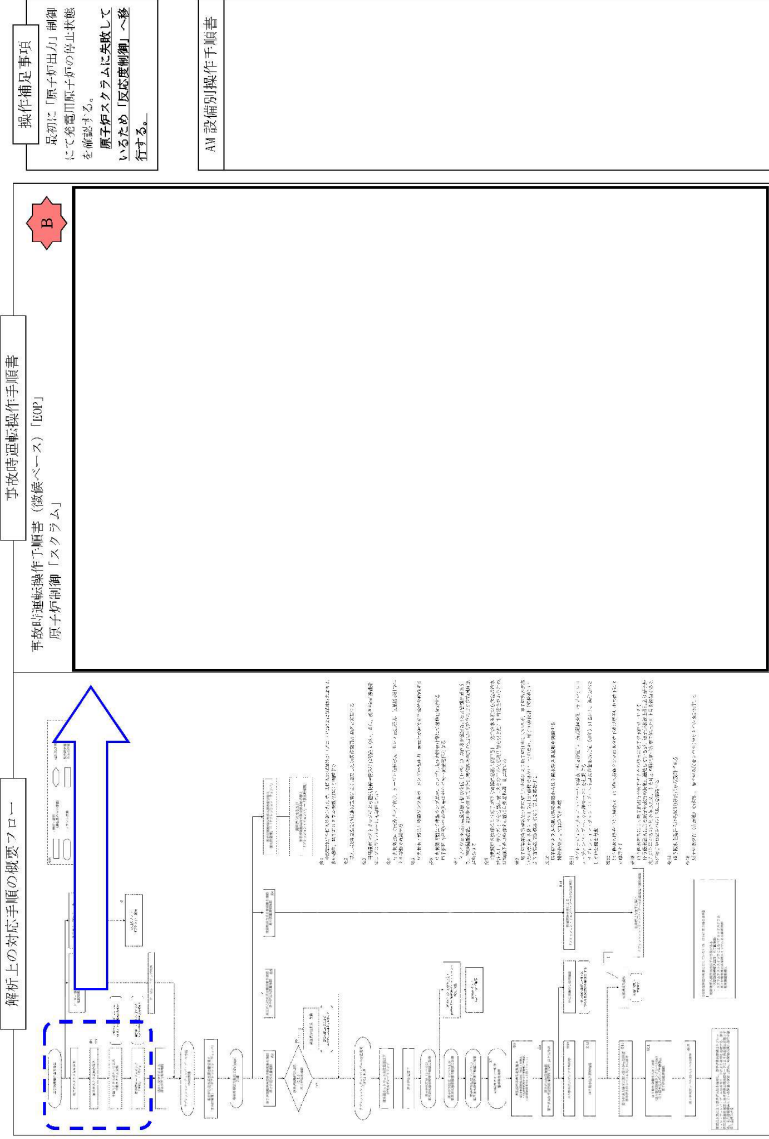
1.5 原子炉停止機能喪失



・有効性評価の解析条件及び解析結果並びに設備及び運用の相違
【柏崎6/7, 東海第二】

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<div data-bbox="201 525 863 1570" style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <div data-bbox="172 871 195 1213" style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">事故時運転転作手順書 全体対応フロー</div> <div data-bbox="887 1024 911 1087" style="text-align: center;">1.0.7-4.8-2</div>	<div data-bbox="1018 556 1641 1528" style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <div data-bbox="973 913 997 1165" style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">非常時運転手順書 全体対応フロー</div> <div data-bbox="1670 997 1694 1075" style="text-align: center;">1.0.7-4.8-2</div>	<div data-bbox="1754 510 2451 1591" style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <div data-bbox="2466 793 2496 1297" style="color: red; text-align: center;">事故時操作運転手順書 EOP対応フロー</div>	

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<div data-bbox="172 1396 207 1533" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">詳細手順説明</div> <div data-bbox="213 1165 896 1585"> <div data-bbox="213 1270 252 1480" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">解析上の対応手順の概観フロー</div>  </div> <div data-bbox="213 997 896 1155"> <div data-bbox="213 892 252 1039" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">事故時運転操作手順書 〔蒸気減速機付〕</div> <div data-bbox="213 703 896 987" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <div data-bbox="213 829 252 987" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">事故時運転操作手順書 (対象ケース) (AOP)</div> <div data-bbox="213 703 896 819" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <div data-bbox="213 724 252 766" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">A</div> </div> </div> </div> <div data-bbox="213 535 896 693"> <div data-bbox="213 556 252 682" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">操作補足事項</div> <div data-bbox="252 535 430 693" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>「原子炉スラッシュ事故」発生後、主選 気減速機付 (AOP) 蒸気減速機 による対応する 蒸気減速機付の構造により スラッシュ時のシフトが、 急行して発生する。 このため、蒸気減速機付の 運転の必要事項は、 AOP 中の操作は、 必ず「蒸気減速機付 (AOP) 専取 手順」で対応する。</p> </div> <div data-bbox="430 535 896 693" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <div data-bbox="430 556 460 682" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">AM 設備別操作手順書</div> </div> </div> <div data-bbox="890 1039 920 1123" style="text-align: right;">1.0.7-1.5-3</div>			

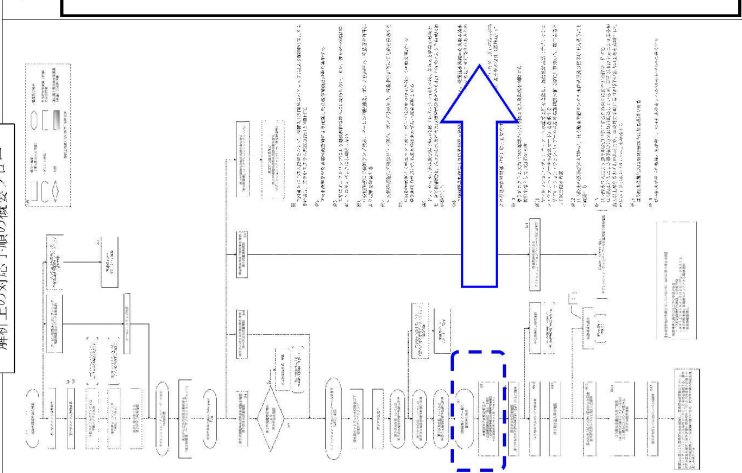
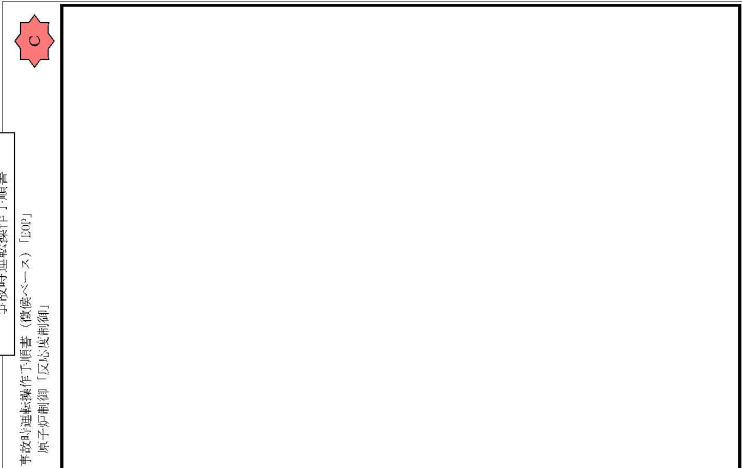


1.0.7-1.5-3

操作補足事項
 原子炉システムに異常しているため、制御棒の挿入状態、原子炉出力を監視する。
 代表制御棒挿入機構ポンプをトリップ機構又は手動により停止させる。
 燃料冷却器出力高 (18.7 MPa level) 超過と原子炉冷却水レベル1 超過が検出された後、30秒経過後、自動減圧機能が動作し、非常用圧力止水弁による圧力低下の多量の水注入による圧力低下の防止のため、自動減圧弁の閉鎖を行う。

AM 設備別操作手順書

AM①	
AM②	
AM③	
AM④	
AM⑤	
AM⑥	
AM⑦	
AM⑧	
AM⑨	
AM⑩	
AM⑪	
AM⑫	
AM⑬	
AM⑭	
AM⑮	
AM⑯	
AM⑰	
AM⑱	
AM⑲	
AM⑳	
AM㉑	
AM㉒	
AM㉓	
AM㉔	
AM㉕	
AM㉖	
AM㉗	
AM㉘	
AM㉙	
AM㉚	
AM㉛	
AM㉜	
AM㉝	
AM㉞	
AM㉟	
AM㊱	
AM㊲	
AM㊳	
AM㊴	
AM㊵	
AM㊶	
AM㊷	
AM㊸	
AM㊹	
AM㊺	
AM㊻	
AM㊼	
AM㊽	
AM㊾	
AM㊿	
AM㉑	
AM㉒	
AM㉓	
AM㉔	
AM㉕	
AM㉖	
AM㉗	
AM㉘	
AM㉙	
AM㉚	
AM㉛	
AM㉜	
AM㉝	
AM㉞	
AM㉟	
AM㊱	
AM㊲	
AM㊳	
AM㊴	
AM㊵	
AM㊶	
AM㊷	
AM㊸	
AM㊹	
AM㊺	
AM㊻	
AM㊼	
AM㊽	
AM㊾	
AM㊿	

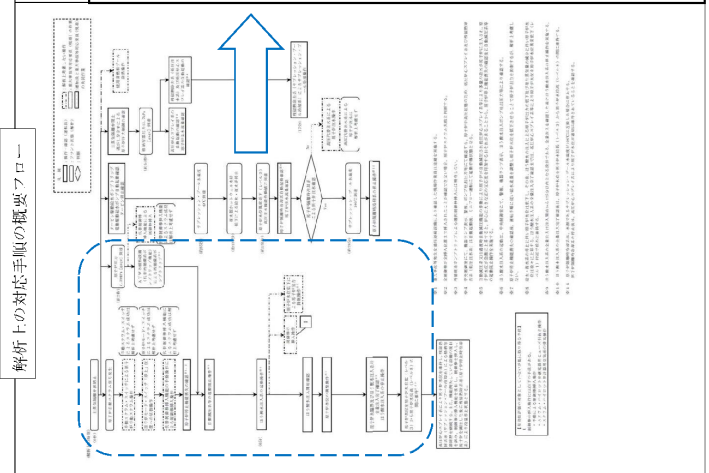
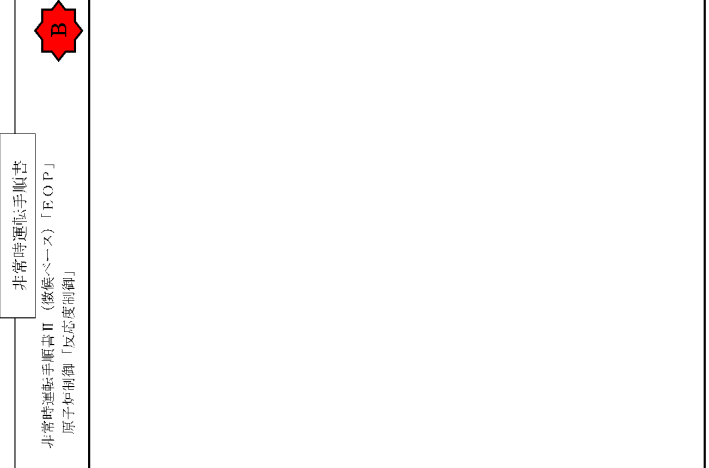


1.0.7-1.5-5

操作補足事項
 再始動システムの再始動は、原子炉出力が再始動レベルに到達するまで、原子炉出力を監視する。
 代表制御棒挿入機構ポンプをトリップ機構又は手動により停止させる。
 燃料冷却器出力高 (18.7 MPa level) 超過と原子炉冷却水レベル1 超過が検出された後、30秒経過後、自動減圧機能が動作し、非常用圧力止水弁による圧力低下の多量の水注入による圧力低下の防止のため、自動減圧弁の閉鎖を行う。

AM 設備別操作手順書

AM①	
AM②	
AM③	
AM④	
AM⑤	
AM⑥	
AM⑦	
AM⑧	
AM⑨	
AM⑩	
AM⑪	
AM⑫	
AM⑬	
AM⑭	
AM⑮	
AM⑯	
AM⑰	
AM⑱	
AM⑲	
AM⑳	
AM㉑	
AM㉒	
AM㉓	
AM㉔	
AM㉕	
AM㉖	
AM㉗	
AM㉘	
AM㉙	
AM㉚	
AM㉛	
AM㉜	
AM㉝	
AM㉞	
AM㉟	
AM㊱	
AM㊲	
AM㊳	
AM㊴	
AM㊵	
AM㊶	
AM㊷	
AM㊸	
AM㊹	
AM㊺	
AM㊻	
AM㊼	
AM㊽	
AM㊾	
AM㊿	

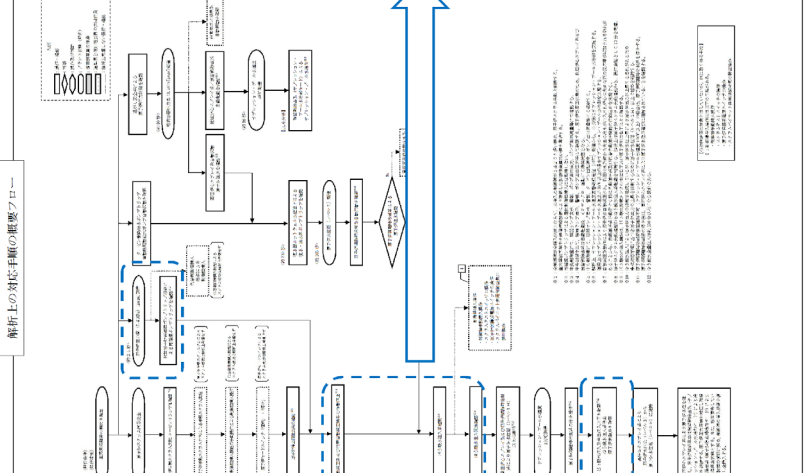
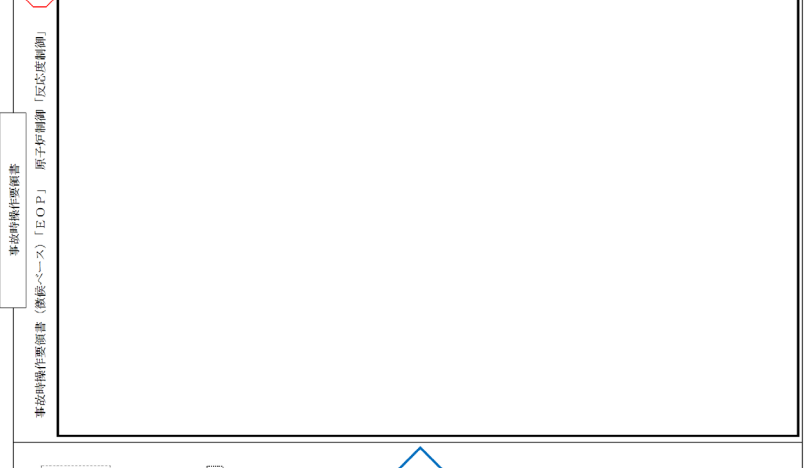


1.0.7-1.5-4

操作補足事項
 「反応度制御」モードとして原子炉出力を監視する。
 代表制御棒挿入機構ポンプをトリップ機構又は手動により停止させる。
 燃料冷却器出力高 (18.7 MPa level) 超過と原子炉冷却水レベル1 超過が検出された後、30秒経過後、自動減圧機能が動作し、非常用圧力止水弁による圧力低下の多量の水注入による圧力低下の防止のため、自動減圧弁の閉鎖を行う。

AM 設備別操作手順書

AM①	
AM②	
AM③	
AM④	
AM⑤	
AM⑥	
AM⑦	
AM⑧	
AM⑨	
AM⑩	
AM⑪	
AM⑫	
AM⑬	
AM⑭	
AM⑮	
AM⑯	
AM⑰	
AM⑱	
AM⑲	
AM⑳	
AM㉑	
AM㉒	
AM㉓	
AM㉔	
AM㉕	
AM㉖	
AM㉗	
AM㉘	
AM㉙	
AM㉚	
AM㉛	
AM㉜	
AM㉝	
AM㉞	
AM㉟	
AM㊱	
AM㊲	
AM㊳	
AM㊴	
AM㊵	
AM㊶	
AM㊷	
AM㊸	
AM㊹	
AM㊺	
AM㊻	
AM㊼	
AM㊽	
AM㊾	
AM㊿	



解析上の対応手順の概要フロー

中核時運転操作手順書 (運転ベース) 「EOP」
原子炉制御 「反応度制御」

操作補足事項

【EOP】操作
「原子炉出力」を監視し、
反応度制御が正常に動作する
ことを確認し、原子炉出力を
低下させる。
原子炉出力が低下した
後、原子炉冷却水注入を停止す
る。

【水位】操作
主蒸気発生器の水位により
炉水水位が変動するが、原子炉
格納容器圧力は、高圧 (高圧) で
原子炉冷却水注入を抑制し、原
子炉圧力調整への注水が確保
される。原子炉出力が低い場
合は、原子炉出力調整への注
水量を調整し、原子炉冷却水
レベルを、1.5 mまで低下させ
ると、原子炉出力を低下させ
る。

AM 設備別操作手順書

1.0.7-1-5-6

詳細手順説明

解析上の対応手順の概要フロー

非常時運転手順書 II (運転ベース) 「EOP」
原子炉制御 「反応度制御」

操作補足事項

【水位】操作
主蒸気発生器の水位により、
炉水水位が変動するが、原子
炉格納容器圧力は、高圧 (高
圧) で原子炉冷却水注入を抑制
し、原子炉出力調整への注水
が確保される。原子炉出力が
低い場合は、原子炉出力調整
への注水量を調整し、原子炉
冷却水レベルを、1.5 mまで
低下させると、原子炉出力を
低下させる。

【炉水】操作
主蒸気発生器の水位により、
炉水水位が変動するが、原子
炉格納容器圧力は、高圧 (高
圧) で原子炉冷却水注入を抑制
し、原子炉出力調整への注水
が確保される。原子炉出力が
低い場合は、原子炉出力調整
への注水量を調整し、原子炉
冷却水レベルを、1.5 mまで
低下させると、原子炉出力を
低下させる。

AM 設備別操作手順書
AM/E 原子炉出力
基本事故時操作手順書

非常時運転手順書 II (運転ベース) 「EOP」
原子炉制御 「スクラム」

1.0.7-1-5-5

解析上の対応手順の概要フロー

非常時操作手順書 (運転ベース) 「EOP」 原子炉制御 「反応度制御」

操作補足事項

【反応度制御】
「反応度制御」が正常に動作
することを確認し、原子炉
出力を低下させる。
原子炉出力が低下した
後、原子炉冷却水注入を停止
する。

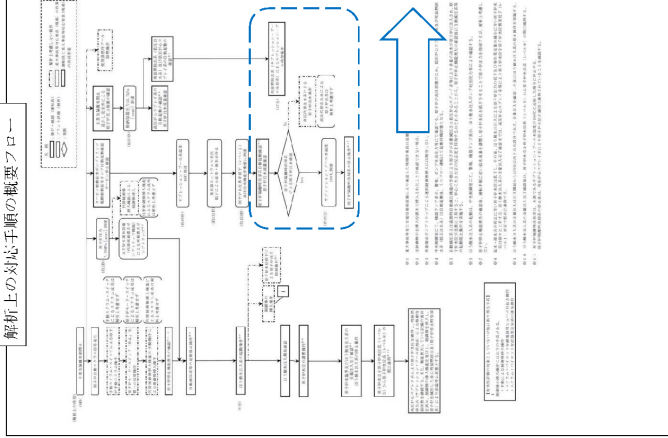
AM 設備別操作手順書

原子炉出力調整手順書

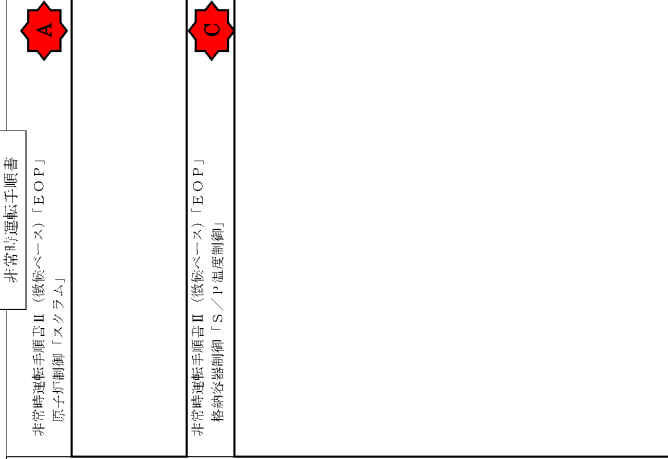
柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<div data-bbox="181 1155 884 1575"> <p>解析上の対応手順の概要フロー</p> </div> <div data-bbox="181 693 884 1144"> <p>緊急時運転操作手順書 (事故ベース) 既記 原子炉制御 (反応制御)</p> </div> <div data-bbox="181 525 884 682"> <p>操作補足事項</p> <p>【図】操作 1. 緊急時運転操作手順書 (事故ベース) 既記 (反応制御) を参照し、原子炉制御 (反応制御) を実施する。 2. 原子炉制御 (反応制御) を実施する際、原子炉制御 (反応制御) の状態を確認する。 3. 原子炉制御 (反応制御) の状態を確認する際、原子炉制御 (反応制御) の状態を確認する。 4. 原子炉制御 (反応制御) の状態を確認する際、原子炉制御 (反応制御) の状態を確認する。 5. 原子炉制御 (反応制御) の状態を確認する際、原子炉制御 (反応制御) の状態を確認する。</p> <p>【圧力】操作 1. 原子炉制御 (反応制御) を実施する際、原子炉制御 (反応制御) の状態を確認する。 2. 原子炉制御 (反応制御) の状態を確認する際、原子炉制御 (反応制御) の状態を確認する。 3. 原子炉制御 (反応制御) の状態を確認する際、原子炉制御 (反応制御) の状態を確認する。 4. 原子炉制御 (反応制御) の状態を確認する際、原子炉制御 (反応制御) の状態を確認する。 5. 原子炉制御 (反応制御) の状態を確認する際、原子炉制御 (反応制御) の状態を確認する。</p> <p>AM 設置時操作手順書</p> </div>			備考

詳細手順説明

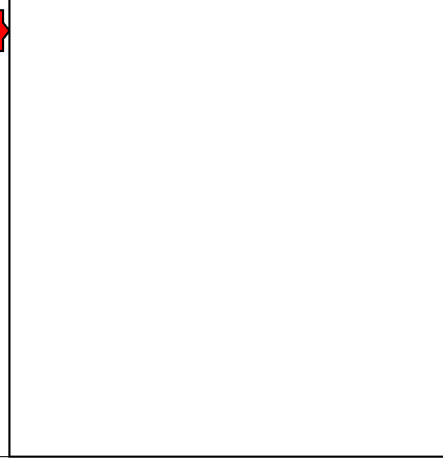
解析上の対応手順の概要フロー



異常時運転手続書 II (撤除ベース) [EOP]
原子炉制御 [スクラム]



異常時運転手続書 II (撤除ベース) [EOP]
格納容器制御 [S/P 温度制御]



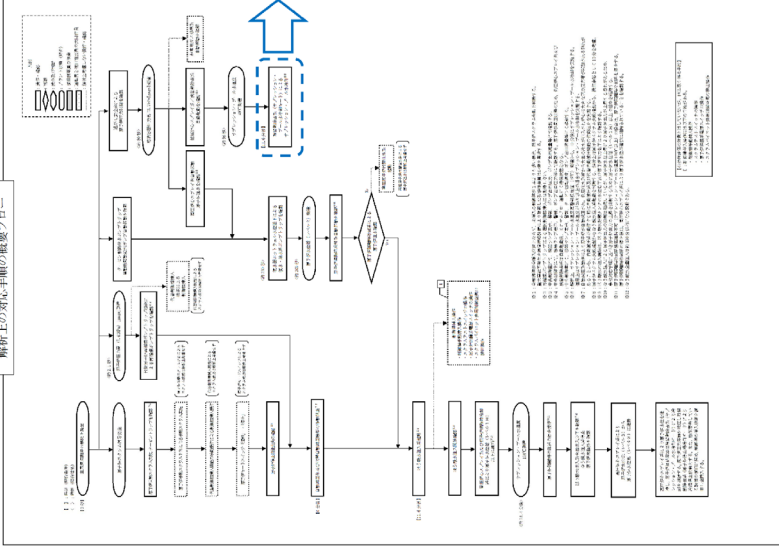
機件補正事項

過剰し流下時の発生、原子炉制御の異常の発生等により、セフティシステム・ブローシステムが作動しない可能性がある。この場合、セフティシステム・ブローシステムを再起動させる必要がある。この場合、セフティシステム・ブローシステムを再起動させる必要がある。この場合、セフティシステム・ブローシステムを再起動させる必要がある。

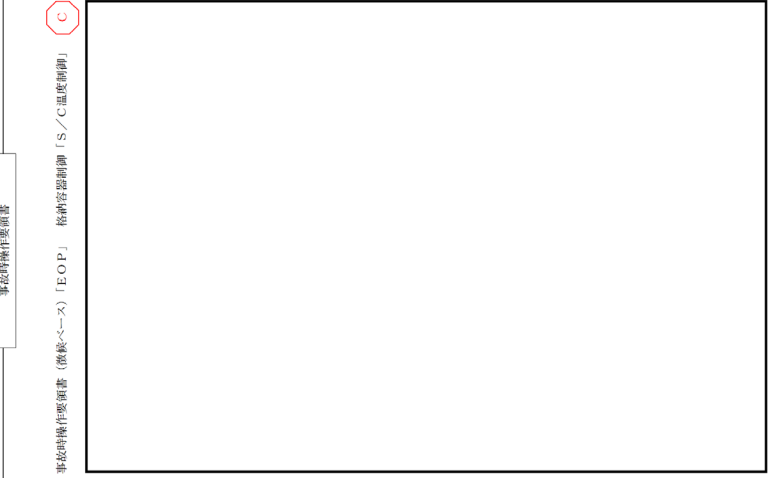
AMR 設備閉鎖口「閉塞」
AMR 閉塞
AMR 閉塞 修理手続
電入系統等が異常

1.0.7-1.5-6

解析上の対応手順の概要フロー



事故時運転手続書



機件補正事項

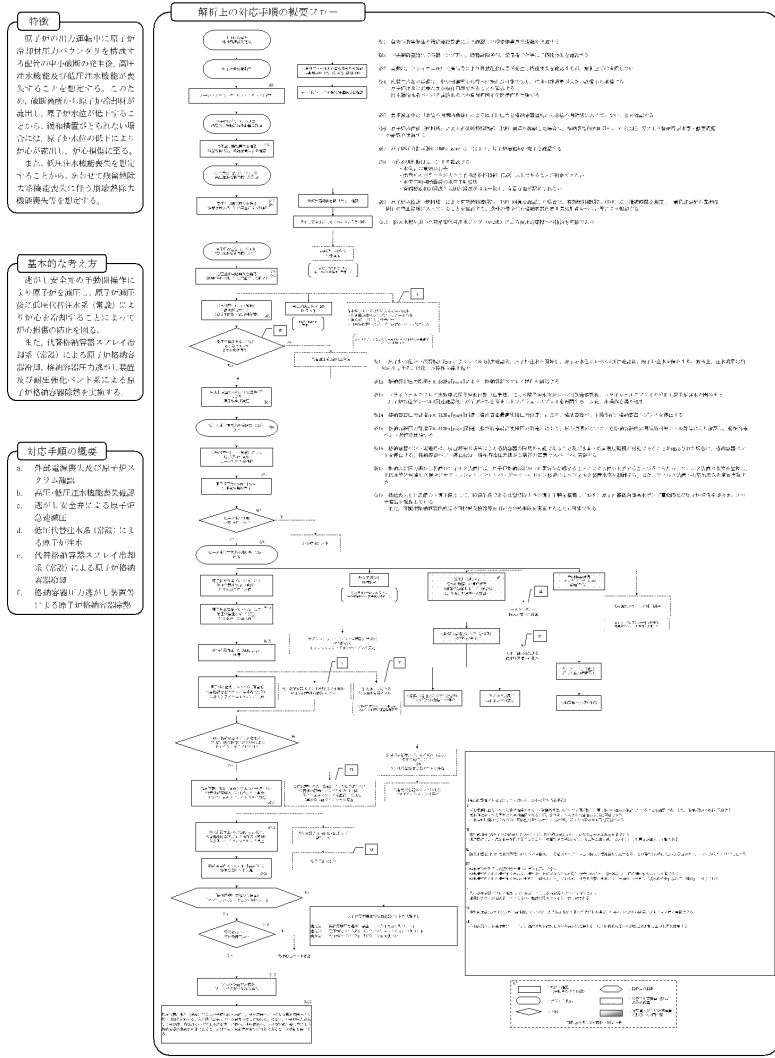
「S/C 温度制御」格納容器制御系をサブシステムで起動し、サブシステム・ブロー水の供給を行う。

AMR設備閉鎖口「閉塞」

原子炉異常対応手順書

柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
		<div data-bbox="1751 483 2493 651"> <p>操作地区事項</p> <p>「システム」画面の運用停止または中間減速時の出力器を停止し、未読票になったことを確認する。</p> <p>AM設備初期稼働調査</p> <p>原子力発電所管理室報告</p> </div> <div data-bbox="1751 651 2493 1092"> <p>事故時作業原簿 (箇条ベース) 「EOP」 原子炉制御「システム」</p> <p>原子炉制御「システム」</p> </div> <div data-bbox="1751 1092 2493 1617"> <p>操作上の対応手順の概要フロー</p> </div>	備考

1.6 LOCA時注水機能喪失



1.6 LOCA時注水機能喪失

特徴
原子炉出力変動中に原子炉冷却材ポンプが故障すると、原子炉冷却回路中の冷却材循環が停止し、炉心燃料棒の温度上昇による燃料棒損傷を招く。原子炉冷却回路中の冷却材循環が停止すると、炉心燃料棒の温度上昇による燃料棒損傷を招く。原子炉冷却回路中の冷却材循環が停止すると、炉心燃料棒の温度上昇による燃料棒損傷を招く。

事故条件

項目	主要解析条件	条件設定の考え方
超因事象	再循環系配管の破断 破断面積は約3.7cm ²	中核断LOCAに対する条件を下記に基づき設定 破断箇所は、高圧配管と低圧配管の境界部（燃料棒配管温度及び事故進展に有意な差がないことから、原子炉内外部に接続される配管の中で接続位置が最も最大となる配管を設定） 破断箇所は炉心直下部（炉心直下部を規定する上で、事故一連の断面積として約3.7cm ² を設定）
安全機能の喪失に対する仮定	高圧注水機能、低圧注水機能及び原子炉減圧機能喪失	高圧注水機能として高圧炉心スプレイス及び原子炉隔離冷却系並びに低圧注水機能として低圧炉心スプレイス及び残熱除去系（低圧注水）の機能喪失を設定 原子炉減圧機能として自動減圧系の機能喪失を設定
外部電源	外部電源なし	外部電源なしの場合は給水・復水器による給水がなく、原子炉水位の低下が早くなることから、外部電源なしを設定 また、原子炉スクラムまで炉心の冷却機能が著しく低下し、外部電源がある場合を含む条件として、原子炉スクラムは原子炉水位低（レベル3）、再循環ポンプトリップは原子炉水位異常低下（レベル2）にて発生するものとする

基本的な考え方
逃がし安全弁の自動動作により原子炉を減圧し、原子炉減圧後に低圧代替注水（常設）により炉心を冷却することによって炉心損傷の防止を図る。また、代替格納容器スプレー冷却系（常設）による格納容器冷却、格納容器圧力低下が認められた場合は、代替格納容器冷却を実施する。なお、代替格納容器冷却系による格納容器加熱も実施可能である。

対応手順概要

- 外部電源喪失及び原子炉スクラム動作
- 高圧・低圧注水機能喪失検知
- 逃がし安全弁による原子炉急減圧
- 低圧代替注水（常設）による原子炉注水
- 代替格納容器スプレー冷却系（常設）による格納容器冷却
- 格納容器圧力低下が認められた場合は、格納容器加熱を実施する。

解析上の対応手順の概要フロー

1.6.7-1.6-1

1.6 LOCA時注水機能喪失

特徴
原子炉出力変動中に原子炉冷却材ポンプが故障すると、原子炉冷却回路中の冷却材循環が停止し、炉心燃料棒の温度上昇による燃料棒損傷を招く。原子炉冷却回路中の冷却材循環が停止すると、炉心燃料棒の温度上昇による燃料棒損傷を招く。原子炉冷却回路中の冷却材循環が停止すると、炉心燃料棒の温度上昇による燃料棒損傷を招く。

基本的な考え方
逃がし安全弁の自動動作により原子炉を減圧し、原子炉減圧後に低圧代替注水（常設）により炉心を冷却することによって炉心損傷の防止を図る。また、代替格納容器スプレー冷却系（常設）による格納容器冷却、格納容器圧力低下が認められた場合は、代替格納容器冷却を実施する。なお、代替格納容器冷却系による格納容器加熱も実施可能である。

対応手順の概要

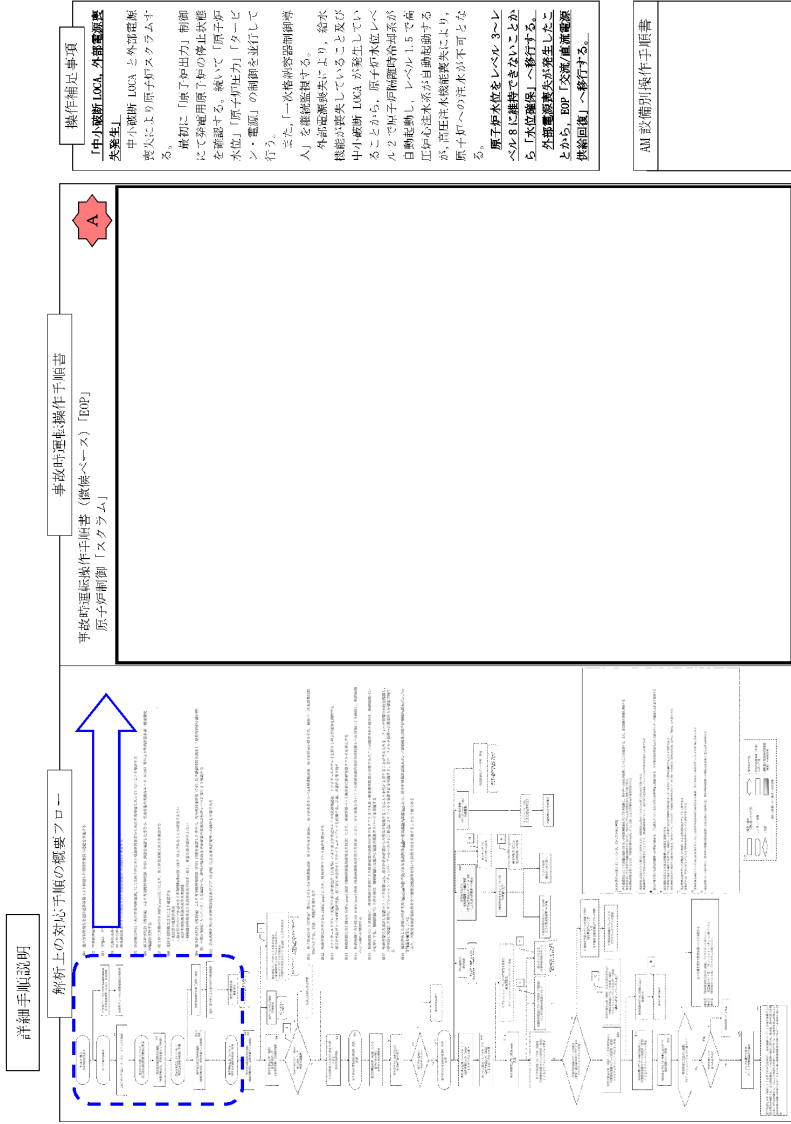
- 外部電源喪失及び原子炉スクラム動作
- 高圧・低圧注水機能喪失検知
- 自動減圧動作による原子炉急減圧
- 低圧代替注水（常設）による原子炉注水
- 格納容器代替注水（常設）による原子炉注水
- 格納容器圧力低下による原子炉格納容器加熱

解析上の対応手順の概要フロー

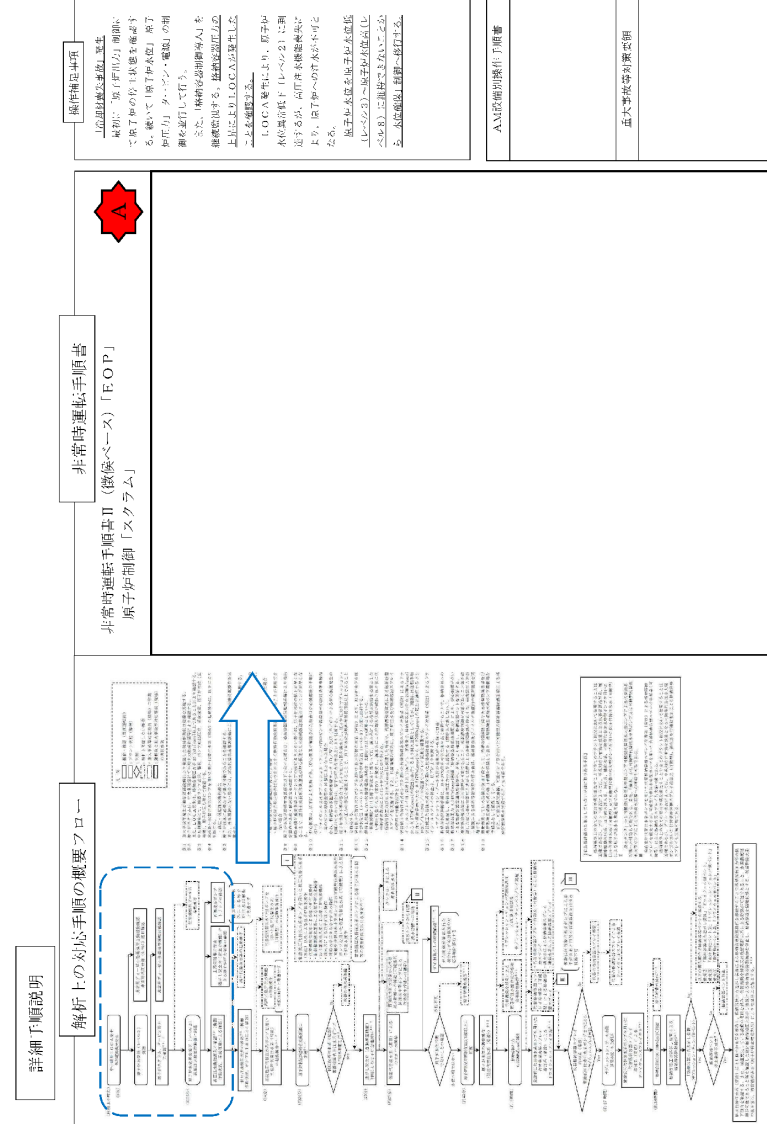
1.6.7-1.6-1

有効性評価の解析条件及び解析結果並びに設備及び運用の相違
【柏崎6/7、東海第二】

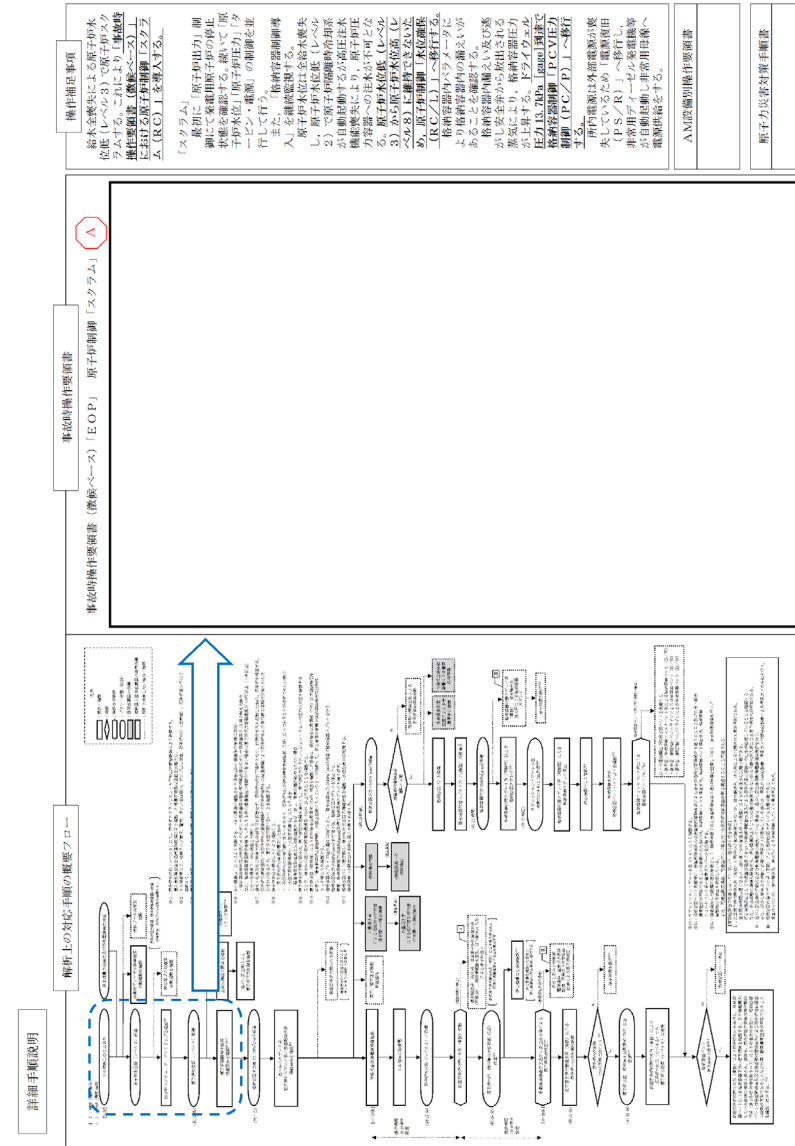
柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<div data-bbox="201 520 866 1591" style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <div data-bbox="172 871 195 1228" style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">事故時運転操作手順書 全体対応フロー</div> <div data-bbox="890 1039 914 1102" style="text-align: center;">1.0.7-1.6-2</div>	<div data-bbox="1012 569 1659 1549" style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <div data-bbox="967 844 1003 1264" style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">非常時運転手順書 全体対応フロー</div> <div data-bbox="1668 1012 1691 1087" style="text-align: center;">1.0.7-1.6-2</div>	<div data-bbox="1754 516 2451 1598" style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <div data-bbox="2487 808 2516 1304" style="color: red; text-align: center;">事故時操作運転手順書 EOP対応フロー</div>	備考



1.0.7-1.6-3



1.0.7-1.6-3



柏崎刈羽原子力発電所 6 / 7号炉 (2017. 12. 20 版)	東海第二発電所 (2018. 9. 18 版)	島根原子力発電所 2号炉	備考
<div data-bbox="172 1155 890 1564"> <p>解析上の対応手順の概要フロー</p> </div> <div data-bbox="172 714 890 1144"> <p>事故時運転手指示 (機組へ) [OP] [交流/直流電源供給回復]</p> <p>B</p> </div> <div data-bbox="172 535 890 703"> <p>操作補足事項 外部電源系により非常用 ディーゼル発電機が自動起動 する。</p> <p>AM 設備別操作手順書</p> </div> <p style="text-align: right;">1.0.7-1.6-4</p>			備考

解析上の対応手順の概要フロー

事故時運転操作手順書
事故時運転操作手順書 (緊急ベース) [EOP]
原子炉制御「水位確保」

操作停止事項
プラント状態名の前に付記し、作動すべきものが作動していない場合は手動作動させる。
冷却水投入及び高圧・低圧注水機運転により、原子炉圧力調整への注水ができます。原子炉水位をレベル3～レベル8に維持できないことから、低圧注水装置 (常設) を作動させる。
低圧注水装置 (常設) の「急減速注水」へ移行する。

AM設備別操作手順書

1.0.7-1.6-5

詳細手順説明

解析上の対応手順の概要フロー

非常時運転操作手順書
非常時運転操作手順書 II (緊急ベース) [EOP]
原子炉制御「水位確保」

操作停止事項
プラント状態名の前に付記し、作動すべきものが作動していない場合は手動作動させる。
冷却水投入及び高圧・低圧注水機運転により、原子炉圧力調整への注水ができます。原子炉水位をレベル3～レベル8に維持できないことから、低圧注水装置 (常設) を作動させる。
低圧注水装置 (常設) の「急減速注水」へ移行する。

AM設備別操作手順書
AM⑩ 原子炉注水

1.0.7-1.6-4

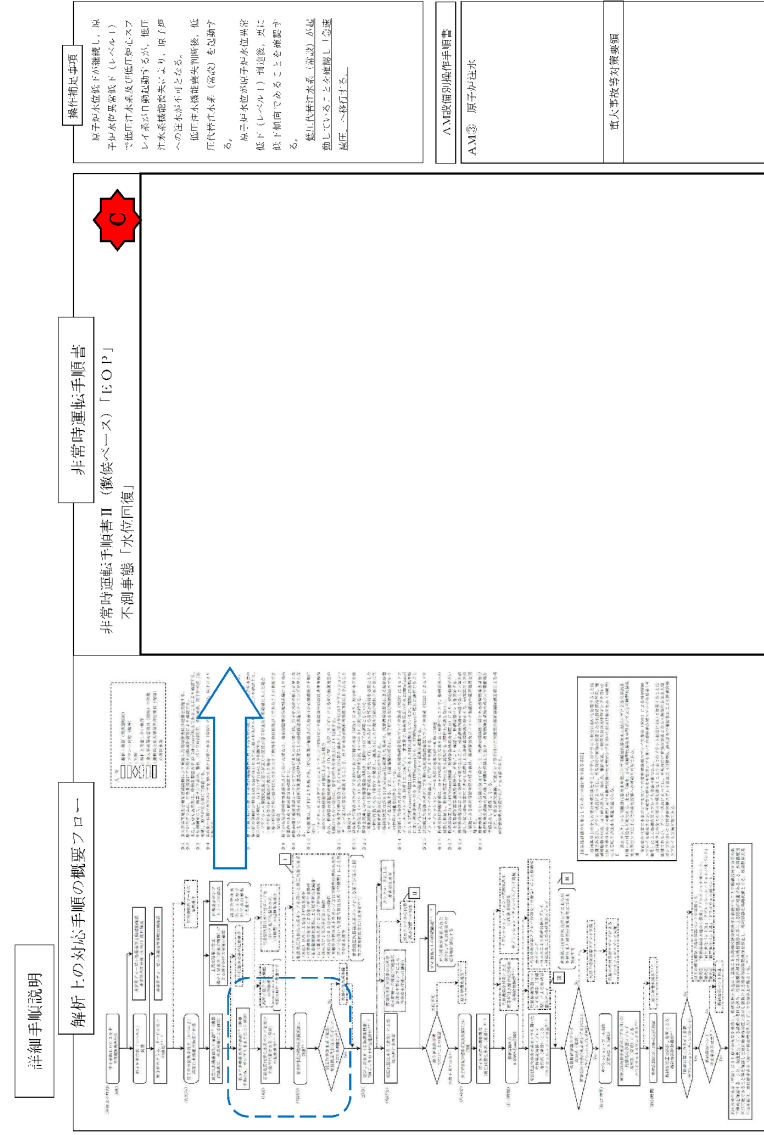
解析上の対応手順の概要フロー

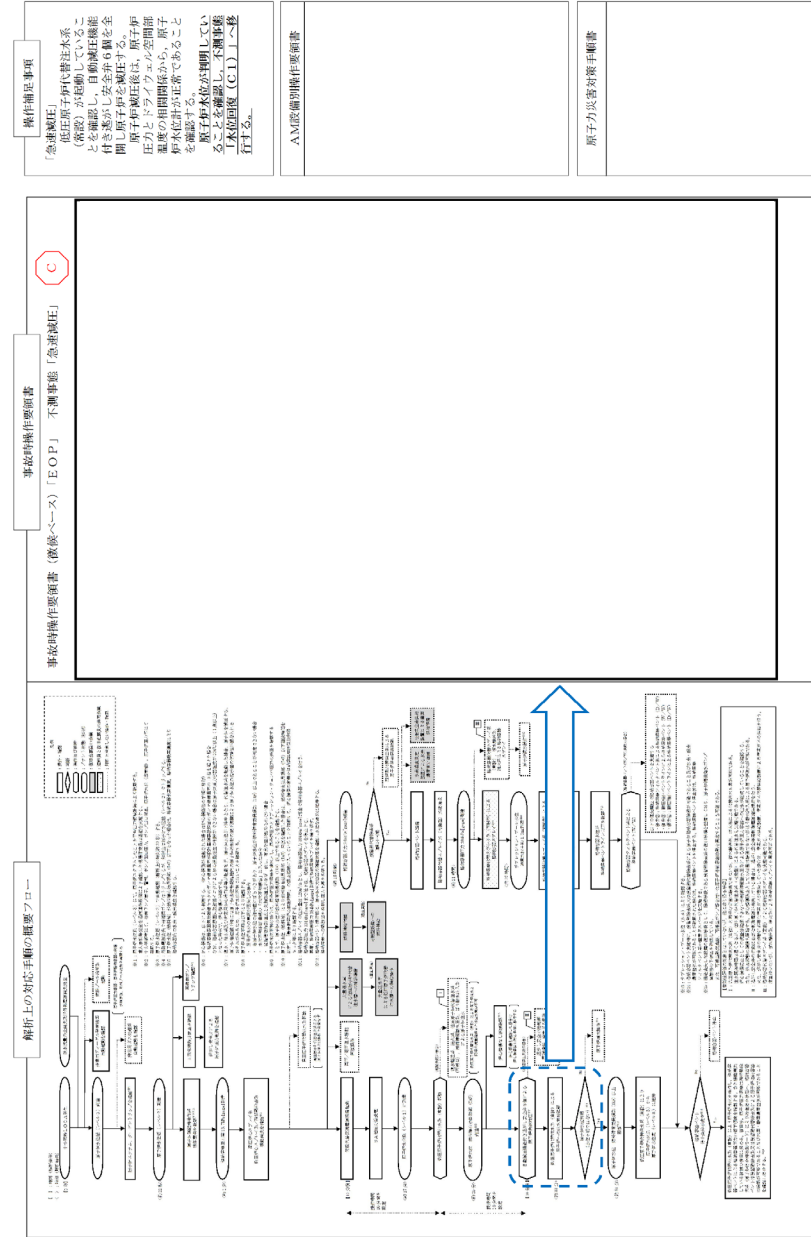
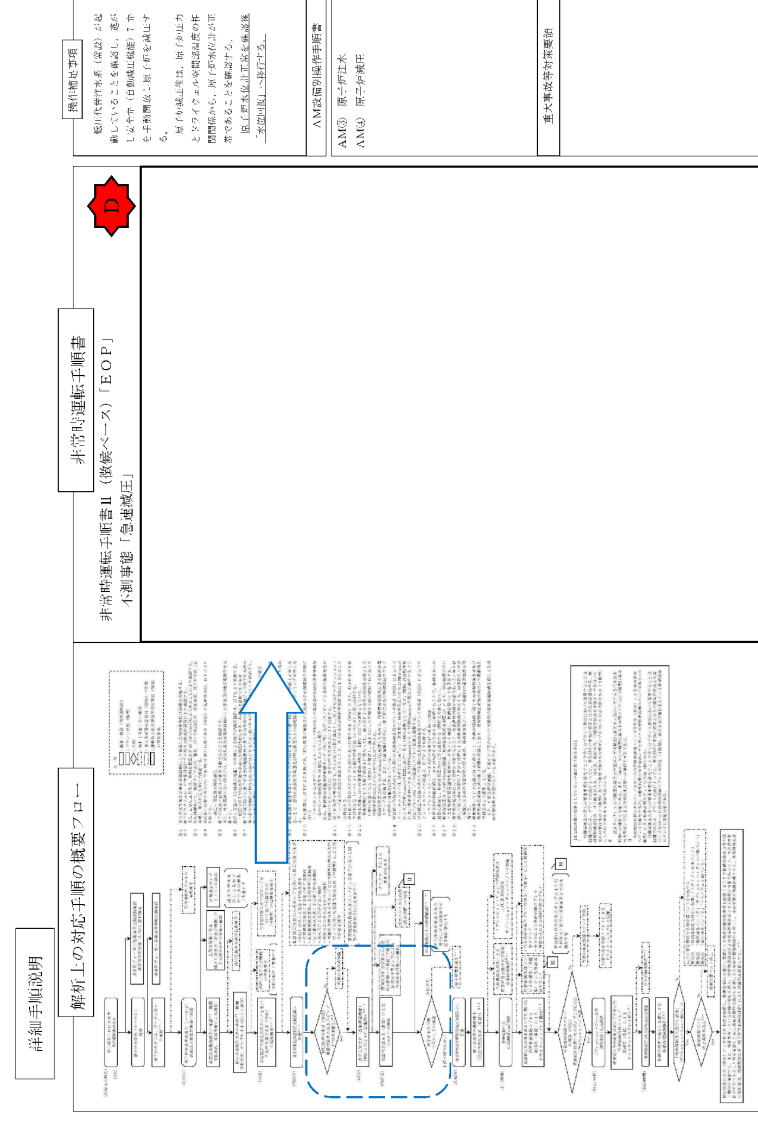
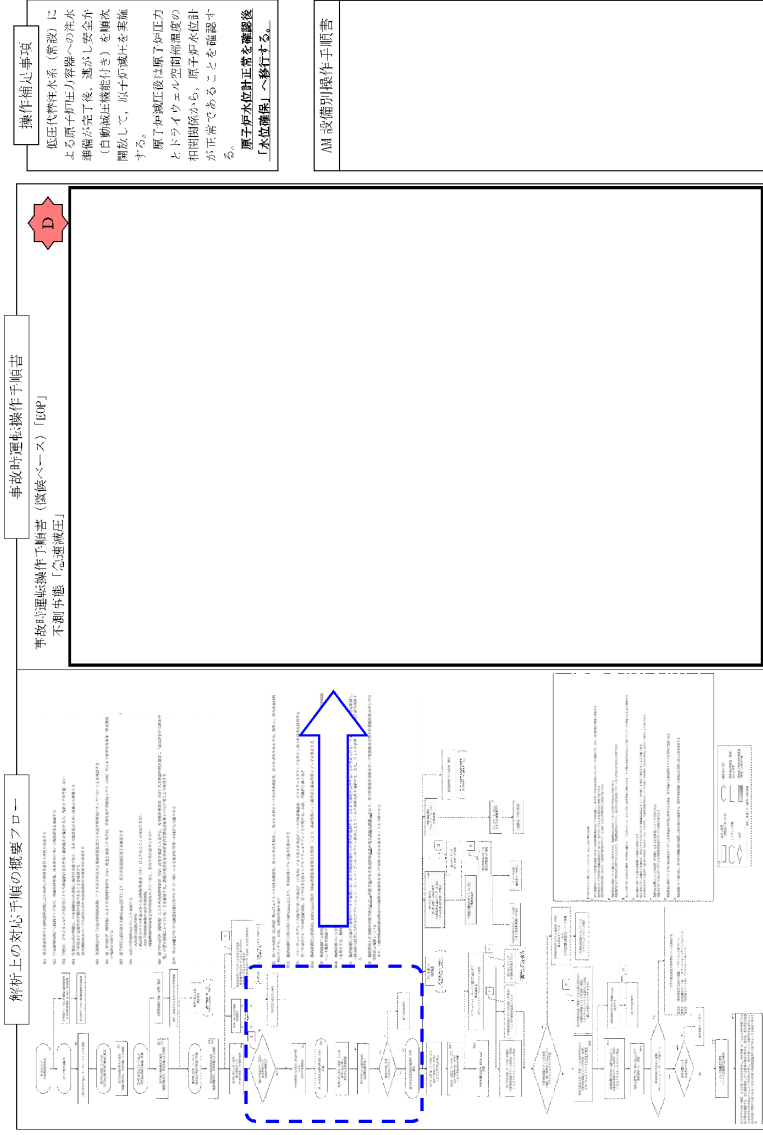
事故時運転操作手順書
事故時運転操作手順書 (緊急ベース) [EOP] 原子炉制御「水位確保」

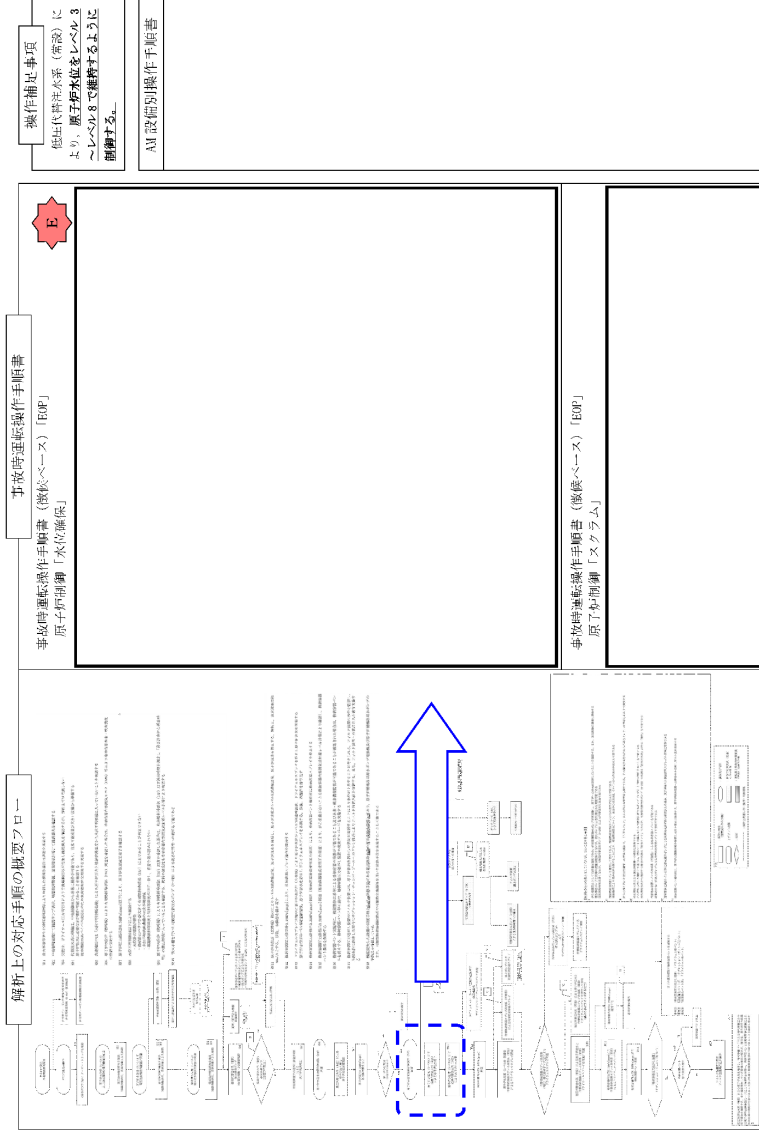
操作停止事項
「水位確保」プラント状態名の前に付記し、作動すべきものが作動していない場合は手動作動させる。
冷却水投入及び高圧・低圧注水機運転により、原子炉圧力調整への注水ができます。原子炉水位をレベル3～レベル8に維持できないことから、低圧注水装置 (常設) を作動させる。
低圧注水装置 (常設) の「急減速注水」へ移行する。

AM設備別操作手順書
AM⑩ 原子炉注水
・FLS ROPによる原子炉注水

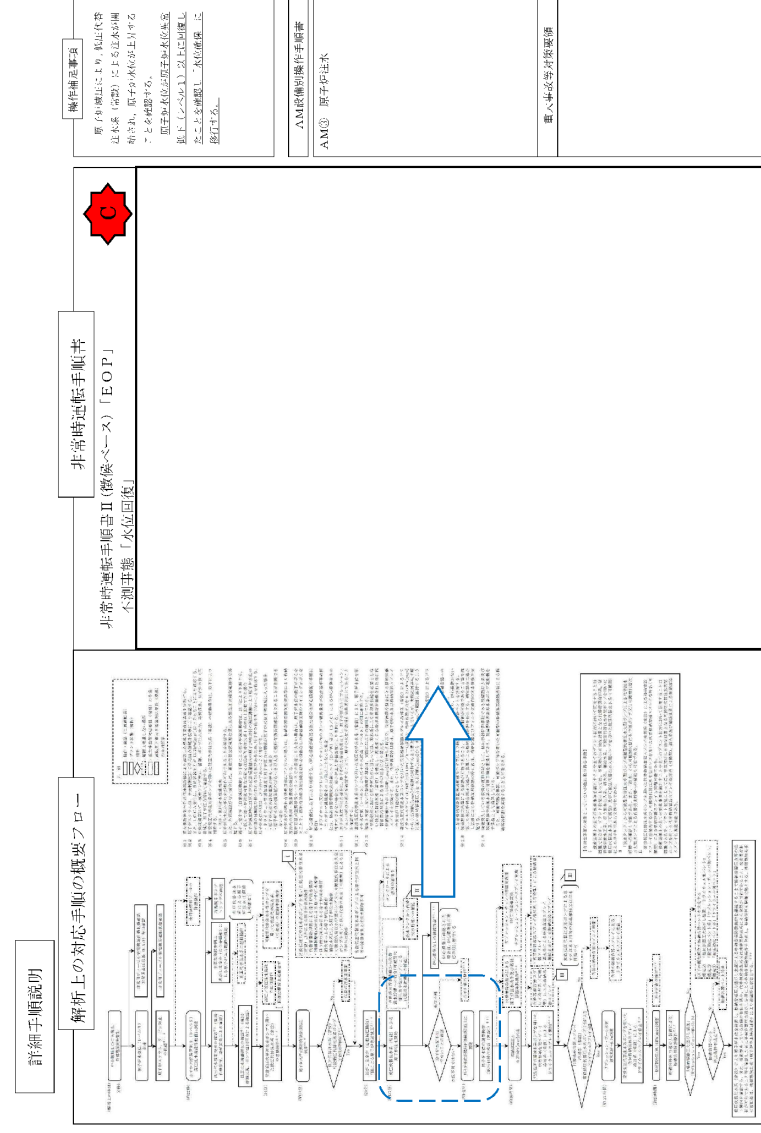
原子炉異常時操作手順書



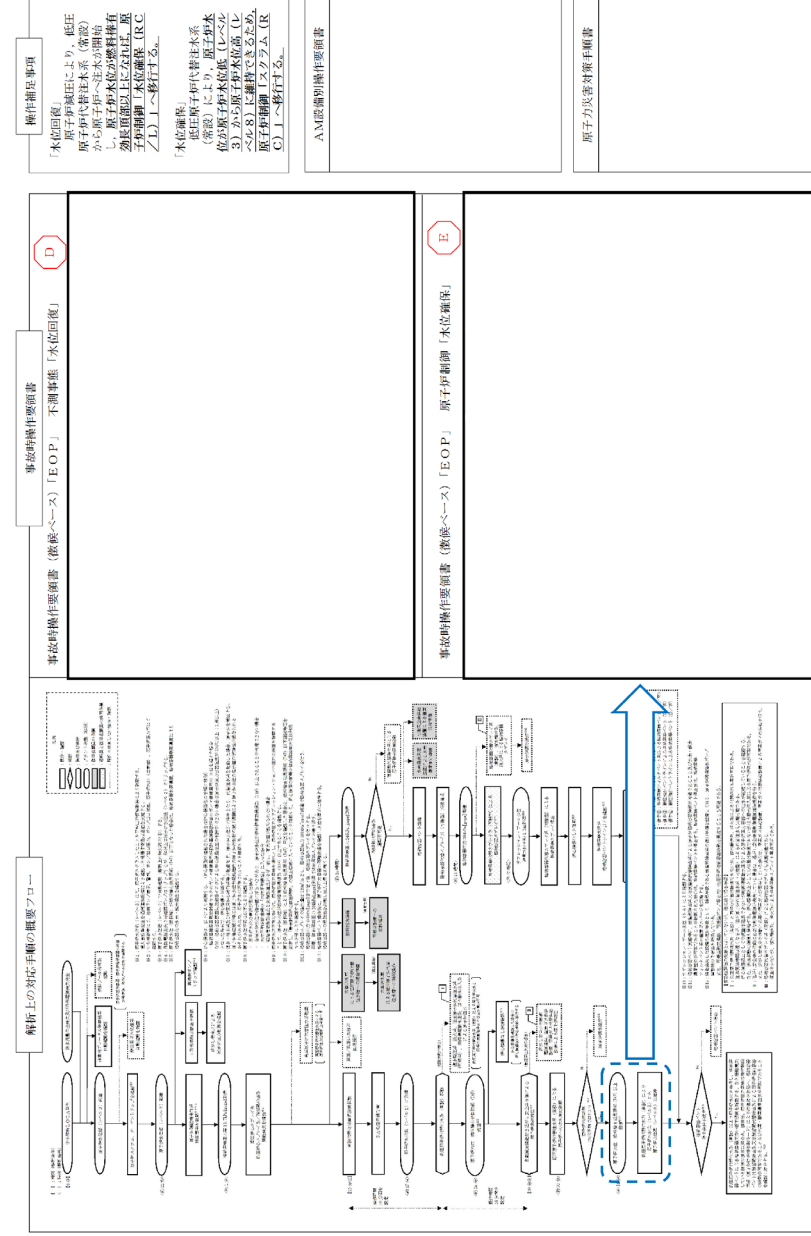




1.0.7-1.6-7

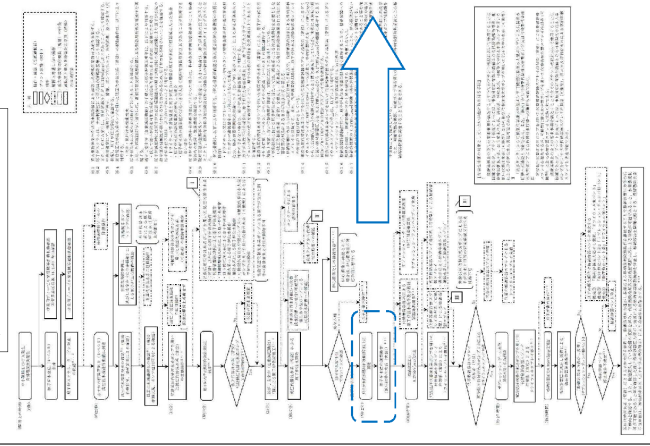


1.0.7-1.6-7



詳細手順説明

解析上の対応手順の概要フロー



非常時運転手帳書Ⅱ (微転ベース)「EOP」
原子炉制御「水位確保」



指示書番号
柏崎刈羽原子力発電所 (原研) による
「柏崎刈羽原子力発電所」の「非常時運転手帳書Ⅱ (微転ベース)」「EOP」
「水位確保」の指示書番号は、本指示書に
記載している。EOP番号は、本指示書
の表紙に記載している。

AM(設備別)指示書番号
AM01 原子炉冷却水

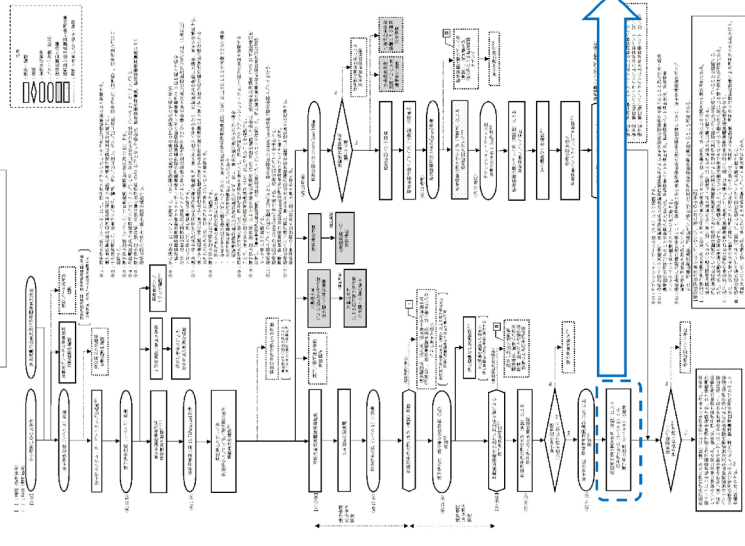
第8号指示書が適用される。

非常時運転手帳書Ⅱ (微転ベース)「EOP」
原子炉制御「スクラム」



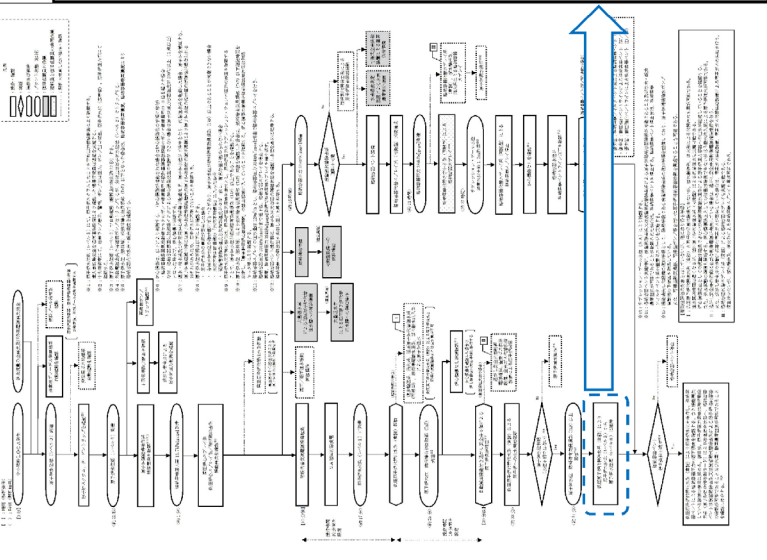
1.0.7-1-6-3

解析上の対応手順の概要フロー



非常時作業票

事故時非常時作業票 (微転ベース)「EOP」 原子炉制御「スクラム」

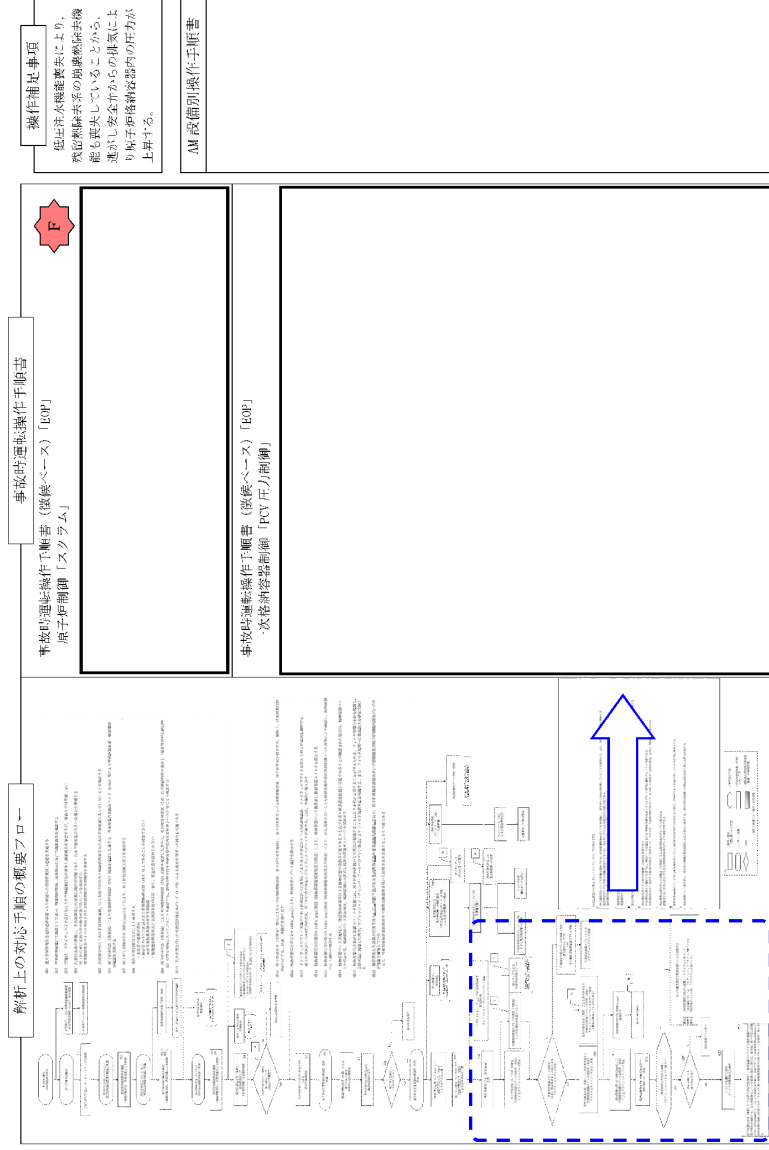


操作指示事項
「スクラム」
「スクラム」実施を指示する。
スクラム実施後、
スクラム実施完了を確認する。

AM(設備別)指示書番号
AM01 原子炉冷却水

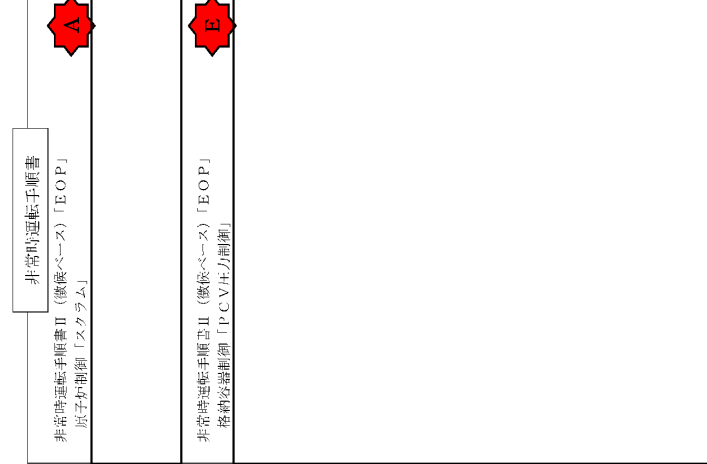
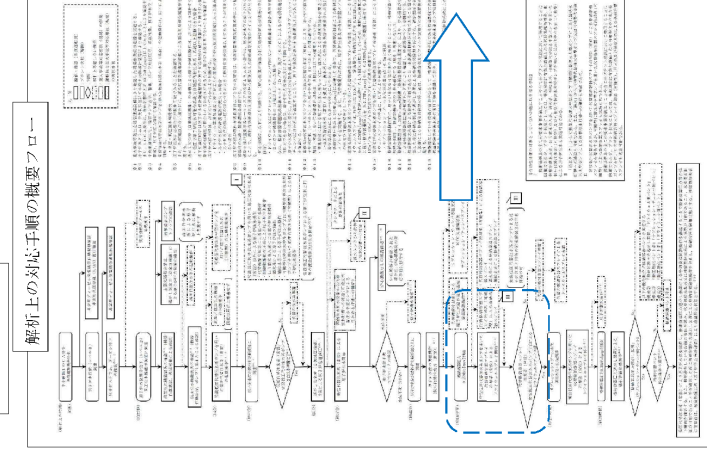
第8号指示書が適用される。

原子炉冷却水対応非常時作業票

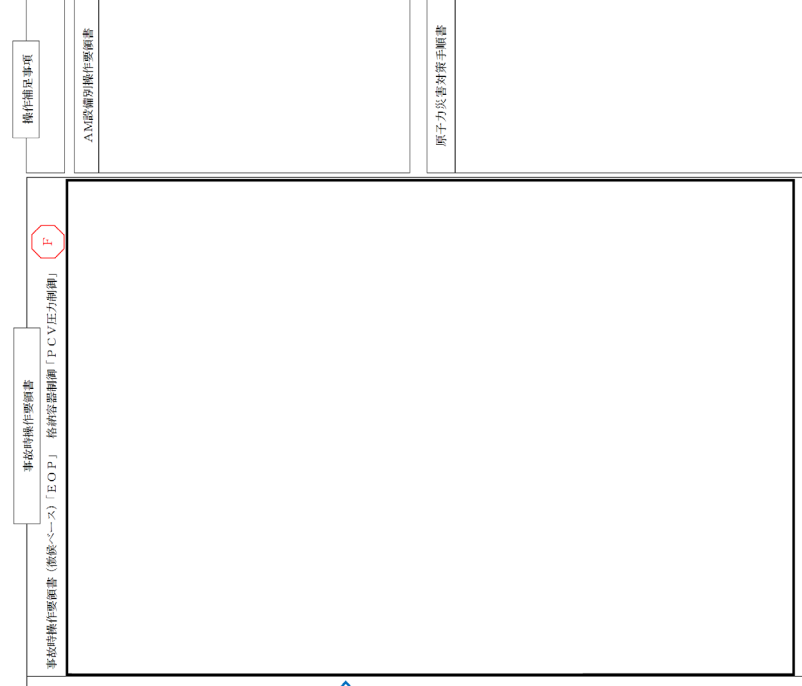
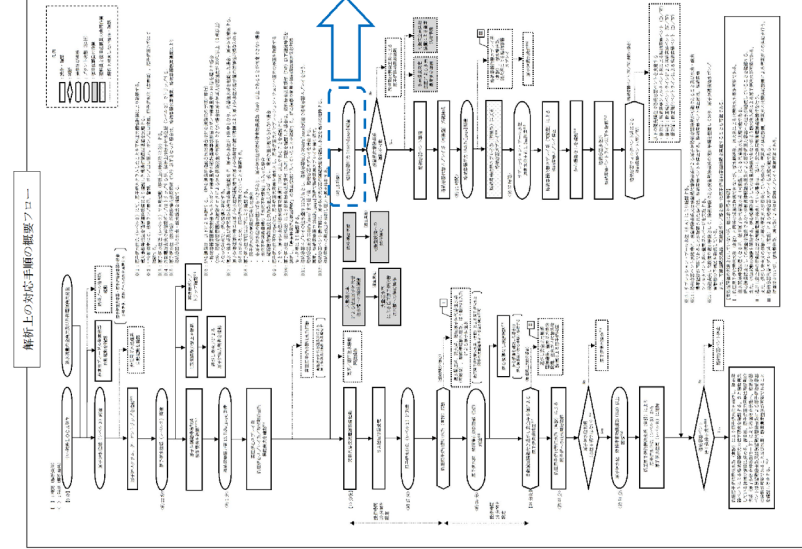


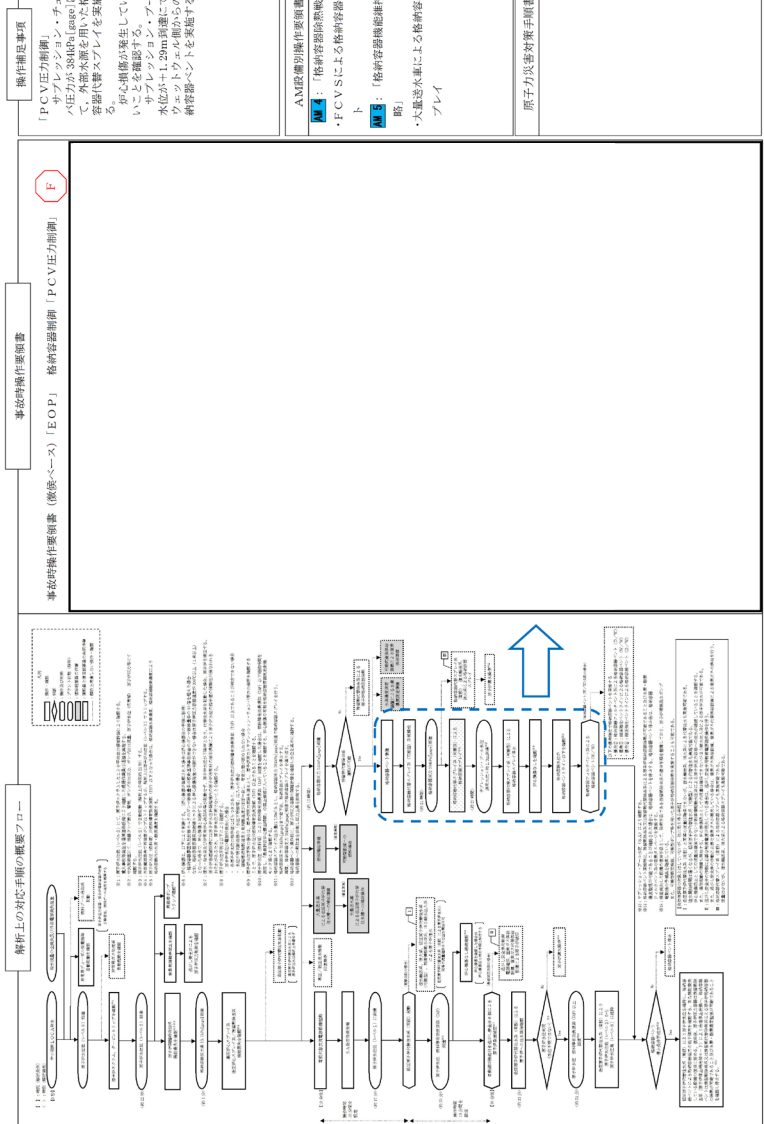
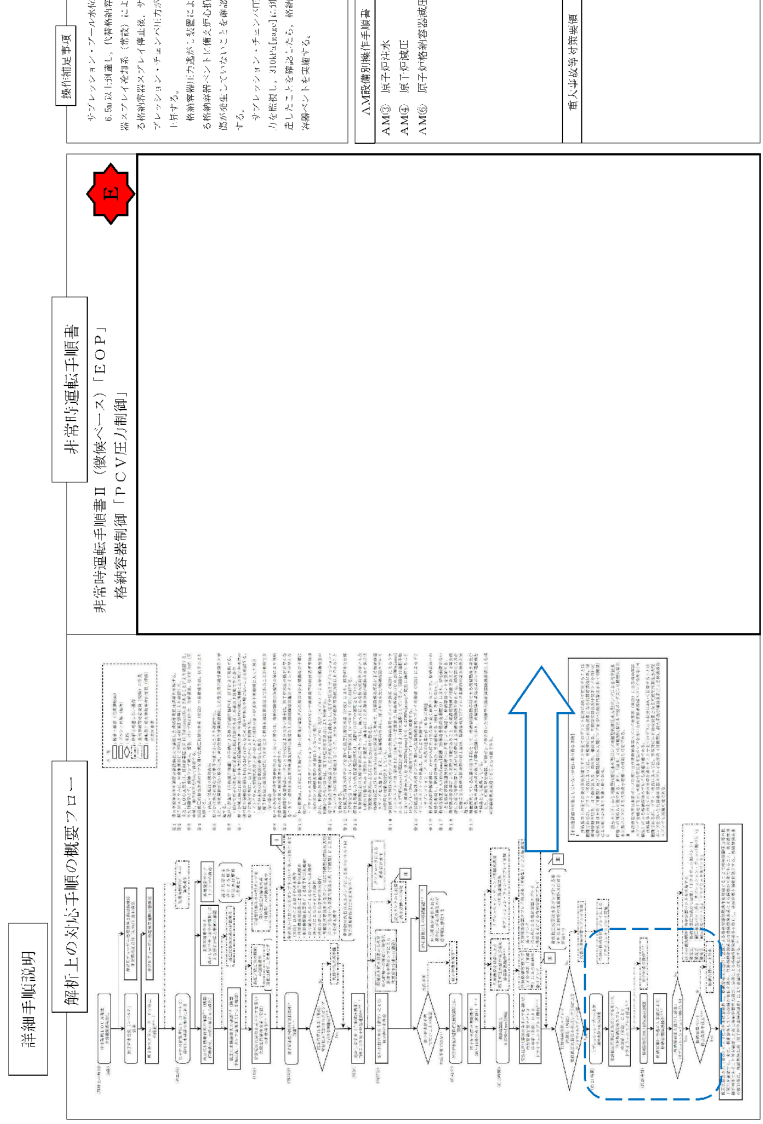
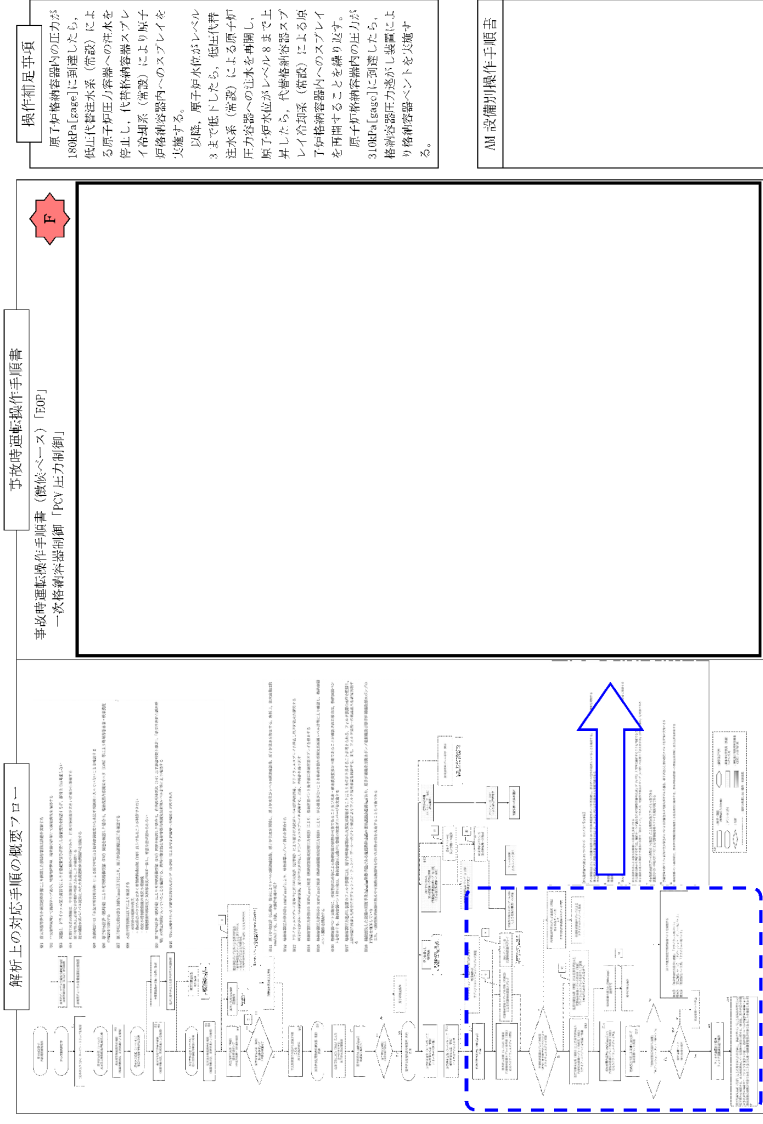
1.0.7-1.6-8

詳細手順説明



1.0.7-1.6-9





1.0.7-1-6-9

1.0.7-1-6-11

詳細手順説明

解析上の対応手順の概要フロー

異常時運転手続書 II (循環ベース) [EOP]
原子炉制御 [システム]

異常時運転手続書 II (循環ベース) [EOP]
特別応答手順 [S/P 水位制御]

適用注意事項
本手順書を適用した際に発生する
異常状態により、サブレグ
システムが正常に動作しない
場合、S/P 水位制御は、
また、サブレグシステムが
正常に動作しない場合に、
本手順書を適用しないこと
とする。

AMM設備別動作手順書

重大事故等対策要領

1.0.7-1.6-10